

.....

第 19 回

日本内分泌学会東海支部学術集会

.....

プログラム・抄録集

会 期 2019年11月16日 (土)

会 場 愛知県産業労働センター (ウインクあいち)
5階 小ホール1・2

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38

会 長 有馬 寛

名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学

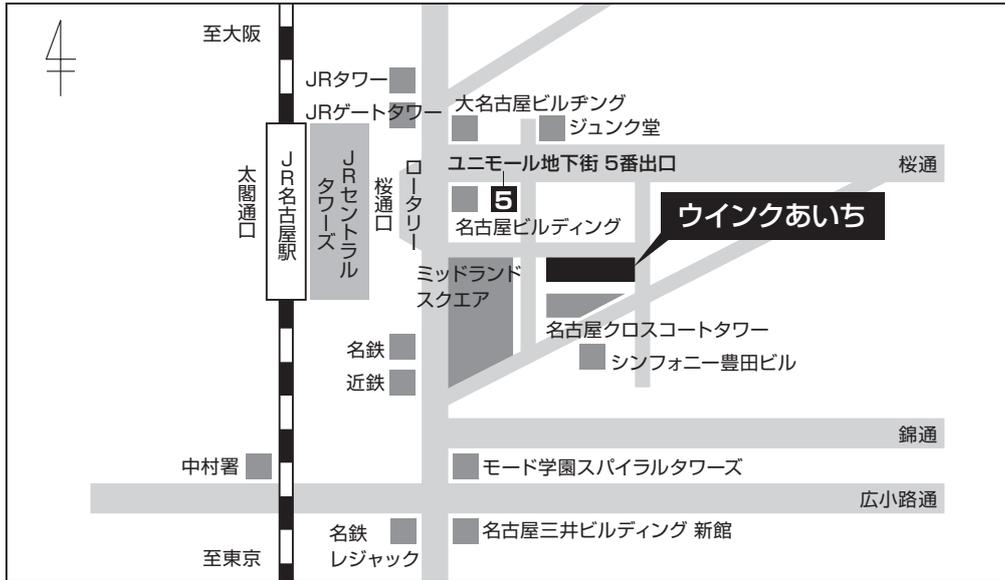
併 催 JES We Can Tokai 企画セッション

会場のご案内

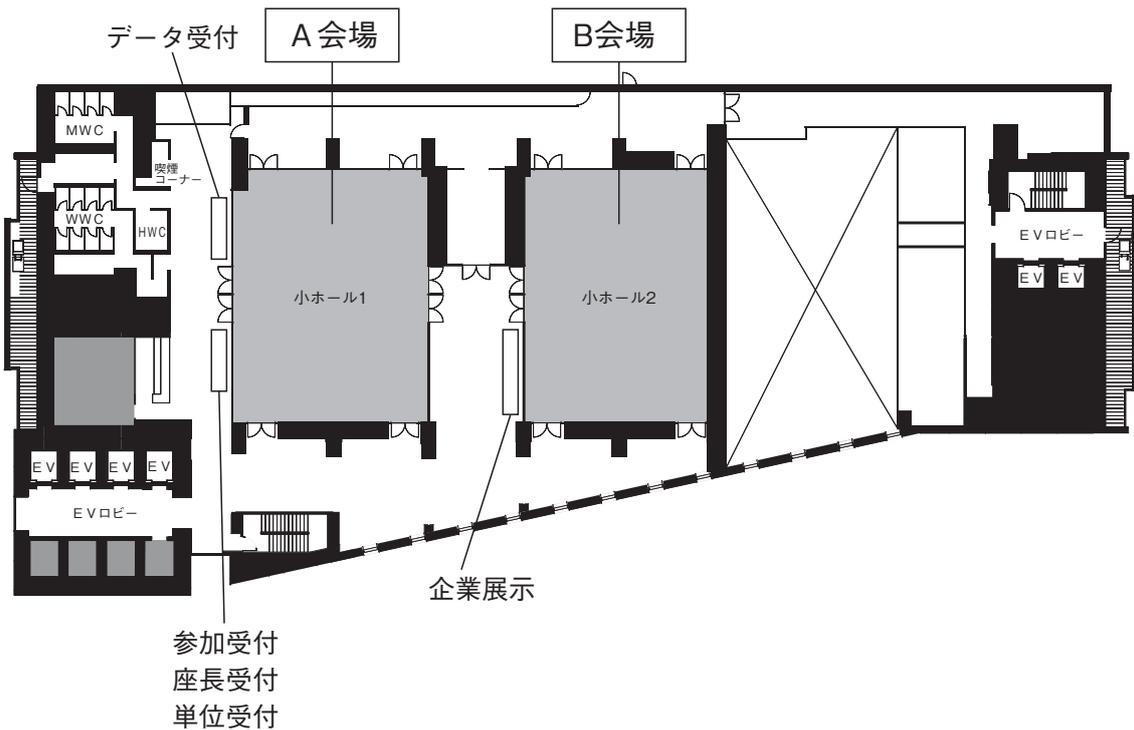
会場：愛知県産業労働センター（ウインクあいち）

5階 小ホール1・2

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4-4-38



■5階 小ホール1・2



日程表

	A 会場	B 会場	役員会
	5階 小ホール1	5階 小ホール2	9階 908会議室
9:30	受付開始 (～16:00頃まで)		
10:00			支部役員会 9:30～10:10
	開会の辞 10:15～		
	総会・評議員会 10:20～10:35		
11:00	〔一般演題 セッション1〕 10:40～11:10 座長：諏訪 哲也 (岐阜大学)	〔一般演題 セッション2〕 10:40～11:10 座長：中嶋 祥子 (市立四日市病院)	
	〔一般演題 セッション3〕 11:10～11:45 座長：田中 智洋 (名古屋市立大学)	〔一般演題 セッション4〕 11:10～11:45 座長：篠田 純治 (トヨタ記念病院)	
12:00			
13:00	〔ランチョンセミナー A〕 12:00～13:00 「機能性下垂体腺腫の治療最前線」 座長：沖 隆 (浜松医科大学 地域家庭医療学) 演者：西岡 宏 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院 間脳下垂体外科) 共催：ノボノルディスクファーマ株式会社	〔ランチョンセミナー B〕 12:00～13:00 「サルコペニアの予防も見据えた糖尿病治療 —食事・薬物療法を含めた集学的な治療を目指して—」 座長：矢野 裕 (三重大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科) 演者：福井 道明 (京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学) 共催：日本イーライリリー株式会社	
14:00	〔若手優秀発表賞審査講演〕 13:05～14:05 座長：森田 浩之 (岐阜大学)	〔一般演題 セッション5〕 13:05～13:55 座長：脇 昌子 (市立静岡病院)	
	〔一般演題 セッション6〕 14:05～14:35 座長：佐々木 茂和 (浜松医科大学)	〔一般演題 セッション7〕 13:55～14:35 座長：稲垣 朱実 (名古屋第二赤十字病院)	
15:00	〔教育講演〕 14:40～15:40 「腫瘍免疫から読み解く irAE のマネージメント」 座長：鈴木 敦詞 (藤田医科大学医学部 内分泌・代謝内科学) 演者：北野 滋久 (がん研究会有明病院 先端医療開発センター がん免疫治療開発部(2019年11月から)) 共催：MSD 株式会社		
	指定講演入場受付		
16:00	〔JES We Can Tokai 企画セッション〕 (日本内分泌学会 専門医資格更新単位付与 指定講演) 〈申請領域：小児科〉 15:50～16:50 「21水酸化酵素欠損症患者の移行期医療の問題点 ～各科連携による生涯フォロー指針作成をめざして～」 座長：山守 越子 (JA 愛知厚生連 海南病院 糖尿病・内分泌内科) 演者：水野 晴夫 (国際医療福祉大学医学部 小児科学)		
17:00	指定講演退場受付 表彰式・閉会の辞 17:00～		

参加者・座長へのご案内

参加者へのご案内

●受付

2019年11月16日（土） 9:30～16:00頃まで

●参加費

2,000円を参加受付でお支払いください。

参加証をお受け取りいただき、記名のうえ着用してください。

医師以外の医療従事者・初期研修医・学生（大学在学中の学生に限る）は無料ですが、参加受付にてご記帳ください。

●支部学術集会参加による専門医資格更新のための単位取得について

取得単位数：5単位

参加受付時にお申し出ください。

認定更新研修単位登録票をお渡し致しますので、終了までに受付に提出してください。

●指定講演聴講による専門医資格更新のための単位取得について

取得単位数：2単位

申請領域：小児科

入場受付：開演10分前～開演10分後

退場受付：終演～終演10分後

指定講演会場前にて受講証を配布します。入場受付時間内に受講証を受け取り、聴講し、退場受付時間内に提出してください。

参加者控は、必ず持ち帰り、保管しておいてください。

●託児室

学会会場の施設内に託児室を設置します。ご利用には事前予約が必要です。詳細は学会HPにてご確認ください。

JES We Can Tokai 企画セッションに関し、年齢等により託児所に預けることができないお子さんで、会場内で静かにしていただける場合、同伴を可と致します。今回は指定講演であり、途中入場もしくは途中退出の場合は聴講単位として認められませんのでご了承ください。

座長へのご案内

ご担当セッション開始30分前までに座長受付をお済ませください。

また、10分前までに次座長席にお着きください。

発表時間は、発表5分、質疑応答2分の計7分です。

進行が遅れないよう、司会を宜しくお願い致します。

発表者へのご案内

USBメモリによるデータの持ち込み、もしくは各自のノートPCで発表をお願い致します。動画がある場合は、PCのお持ち込みを推奨致します。発表はPower Pointに限らせていただきます。スクリーンのアスペクト比は4:3です。

発表の30分前までに、会場の発表データ受付にて、演題受付および動作確認をしてください。

データ持ち込みによるご発表

1. メディアはウイルスチェック済みのもの、または新品を使用し、データ保存後に再度ウイルスチェックを行ってください。
2. PCは、OSがWindows 10、プレゼンテーションソフトがPower Pointです。
3. Power Pointにて作成したデータは「演題番号 氏名」で保存してください。
例：「36 名古屋一郎」
4. 発表は会場で用意するノートPCとマウスを使用し、発表者ご自身が進めてください。
5. Macintoshでのご発表や動画がある場合には、各自のPCでの発表をお願い致します。

PC持ち込みによるご発表

1. 液晶プロジェクタとの接続は、ミニD-sub15ピン外部出力コネクタです。薄型ノートPCでは特殊なコネクタ形状になっているものがありますので、変換アダプタのご用意をお願い致します。
2. バッテリ切れにならないよう、発表にはACアダプタ（100V）をご用意ください。

発表時間

1. 発表時間は、発表5分、質疑応答2分の計7分です。
2. スライド枚数に制限はありませんが、時間厳守にてお願い致します。

COI

1. COI状態について、発表スライドの最初（または演題・発表者等を紹介するスライドの次）に学会の定める様式1-Aにより開示してください。
2. 詳細は下記の学会HPをご参照ください。

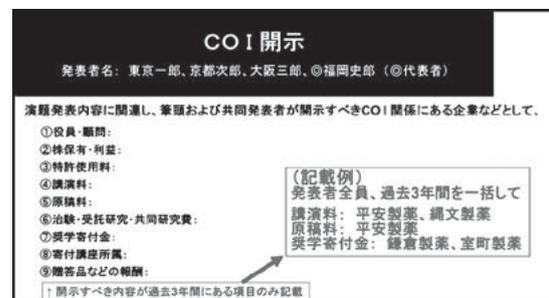
http://www.j-endo.jp/modules/about/index.php?content_id=8

スライド作成例

【申告すべきCOI状態(過去3年間)がない時】



【申告すべきCOI状態(過去3年間)がある時】



発表者要件

日本内分泌学会東海支部規約により、発表者は原則として学会員であることが求められます(学生、研修医を除く)。学会当日までに入会手続きをお願い致します。尚、当日、会場での入会手続きはできません。

プログラム

9:30~10:10
支部役員会

9階 908会議室

10:15~
開会の辞

A会場（小ホール1）

会長：有馬 寛（名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学）

10:20~10:35
総会・評議員会

A会場（小ホール1）

10:40~11:10
一般演題（セッション1）

A会場（小ホール1）

座長：諏訪 哲也（岐阜大学大学院医学系研究科 内分泌代謝病態学）

1. シナカルセト及びプレドニゾロンが有効であった後天性低Ca尿性高Ca血症(AHH)の一例

¹公立陶生病院 内分泌・代謝内科、²東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科

○松野 裕里子¹、井土 哲志¹、大井 あや¹、笠井 貴敏¹、伊藤 雅子¹、
赤羽 貴美子¹、吉岡 修子¹、榎田 紀子²、飯利 太朗²

2. 中枢性尿崩症で発症したリンパ球性漏斗下垂体後葉炎が疑われる1例

¹岡崎市民病院 内分泌・糖尿病内科、²藤田医科大学医学部 内分泌・代謝内科学

○塚本 健二¹、高橋 ゆい¹、近藤 祐市¹、倉橋 ともみ¹、佐藤 勝紀¹、
藤沢 治樹²、梶村 益久²、渡邊 峰守¹

3. ラトケ嚢胞感染を合併した中枢性尿崩症を来した一例

市立四日市病院 糖尿病・内分泌内科

○丸山 昭洋、柴田 みゆき、真野 頌子、中嶋 祥子

4. 妊娠中に発覚した原発性副甲状腺機能亢進症に対して外科的切除術を施行した一例

JA愛知厚生連 安城更生病院 内分泌・糖尿病内科

○村瀬 貴紀、安藤 安佐子、村瀬 萌絵、武田 理、山田 涼子、伊藤 真梨子、
近藤 國和、水谷 直広

10:40~11:10
一般演題（セッション2）

B会場（小ホール2）

座長：中嶋 祥子（市立四日市病院 糖尿病・内分泌内科）

5. 当院で手術を施行した甲状腺髄様癌症例の検討

名古屋大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科

○柴田 雅央、一川 貴洋、稲石 貴弘、渡邊 学、宮嶋 則行、高野 悠子、武内 大、
角田 伸行、菊森 豊根

6. 99mTc-MIBIシンチグラフィにて2腺性腺腫が疑われた甲状腺乳頭癌合併、原発性副甲状腺機能亢進症の一例

¹稲沢市民病院 研修医、²稲沢市民病院 糖尿病・内分泌内科、³稲沢市民病院 外科
○中根 啓允¹、山田 紗矢加²、谷口 誠治²、一柳 亞季²、深見 亜也子²、
竹藤 聖子²、久納 孝夫³、野村 由夫²

7. ネグレクトにより発症し著名な胸腹水貯留で死亡した粘液水腫性昏睡の1例

名古屋市立東部医療センター 内分泌・糖尿病内科
○藤井 明沙美、大木 健士郎、平林 真代、赤尾 雅也

8. 慢性甲状腺炎で加療中に甲状腺眼症を発症した一例

¹独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院 内分泌・糖尿病内科、
²名古屋第二赤十字病院 糖尿病・内分泌内科
○片岡 祐子¹、加藤 娑智穂²、山川 文子¹、清水 裕史¹

11:10~11:45

一般演題 (セッション3)

A会場 (小ホール1)

座長：田中 智洋 (名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学)

9. 機能性下垂体腺腫に対する経鼻手術の工夫

名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科
○永田 雄一、竹内 和人、山本 太樹、若林 俊彦

10. ヒドロコルチゾンを補充量に漸減後、精神症状が悪化したSheehan症候群の一例

春日井市民病院 糖尿病・内分泌内科
○渡邊 梨紗子、松野 裕里子、舟橋 夕貴子、岡田 由紀子、松田 淳一、
佐々木 洋光

11. ホルモン補償開始後、急激な耐糖能悪化を来した汎下垂体機能低下症の1例

¹浜松医科大学 第二内科、²同 国際化推進センター、³同 地域家庭医療学
○池谷 章¹、山下 美保²、大川 雄太¹、柿沢 圭亮¹、佐々木 茂和¹、沖 隆³

12. FGF8遺伝子にミスセンスバリエントが同定された低ゴナドトロピン性性腺機能低下症の1例

¹静岡県立総合病院 糖尿病・内分泌代謝センター、
²静岡県立総合病院リサーチサポートセンター、³静岡県立総合病院 遺伝診療科、
⁴慶應義塾大学医学部 内科学教室 腎臓内分泌代謝内科、
⁵国立成育医療研究センター研究所 分子内分泌研究部
○齋藤 洗平^{1,2,4}、臼井 健^{2,3}、山田 賀奈子¹、畠山 寛¹、鳥居 みずき¹、
姜 知佳¹、小杉 理英子^{1,3}、米本 崇子^{1,3}、小川 達雄¹、小谷 仁人^{1,2}、田村 尚久^{1,2}、
鈴木 江莉奈⁵、深見 真紀⁵、井上 達秀¹

13. トルコ鞍部病変に対する経鼻内視鏡術後低ナトリウム血症の検討

名古屋大学 脳神経外科

○竹内 和人、永田 雄一、山本 太樹、若林 俊彦

11:10~11:45

一般演題 (セッション4)

B会場 (小ホール2)

座長：篠田 純治 (トヨタ記念病院 内分泌・糖尿病内科)

14. 糖尿病発症・低K血症・浮腫を契機に再発が発覚した異所性ACTH症候群の1例

¹半田市立半田病院 糖尿病・内分泌内科、²同 腎臓内科、³同 病理診断科、
⁴県立多治見病院 内分泌内科、⁵おかざき糖尿病内科クリニック

○野尻 奈穂¹、高橋 ゆい¹、光本 一樹⁴、水野 裕子¹、丹羽 靖浩¹、水谷 真²、
長浜 真人³、鈴木 陽之⁵、足立 浩一¹

15. 高齢者の副腎コルチゾール産生腫瘍に対して内服治療を選択した2例

岐阜大学医学部附属病院 糖尿病代謝内科

○桑原 弥生、鷹尾 賢、加藤 丈博、廣田 卓男、塩谷 真由美、飯塚 勝美、
諏訪 哲也、堀川 幸男、矢部 大介

16. 神経線維腫症1型患者へのSNRI投与により褐色細胞腫クリーゼを発症した1例

¹藤田医科大学病院 臨床教育センター、²藤田医科大学医学部 内分泌・代謝学

○松本 沙弓¹、良元 亮²、岡本 慧子²、根木 可奈²、吉野 寧維²、四馬田 恵²、
牧野 真樹²、鈴木 敦詞²

17. 原発性アルドステロン症を合併したクッシング症候群に対し副腎腫瘍摘出術を施行した一例

¹名古屋市立大学病院 内分泌糖尿病内科、²同 泌尿器科、

³東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野

○長谷川 千恵¹、小山 博之¹、梶 昭太¹、清水 優希¹、浜田 けい子¹、早川 暁子¹、
竹田 勝志¹、小川 健人¹、青谷 大介¹、恵谷 俊紀²、安井 孝周²、笹野 公伸³、
田中 智洋¹

18. Stage II 副腎皮質癌に対しミトタンを使用した1例

津島市民病院 内分泌内科

○村岡 由佳、浅野 友良、西口 亜希

12:00~13:00

ランチョンセミナーA

「機能性下垂体腺腫の治療最前線」

A会場 (小ホール1)

(共催：ノボノルディスクファーマ株式会社)

座長：沖 隆 (浜松医科大学 地域家庭医療学)

演者：西岡 宏 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院 間脳下垂体外科)

ランチョンセミナーB

「サルコペニアの予防も見据えた糖尿病治療

－食事・薬物療法を含めた集学的な治療を目指して－

B会場（小ホール2）

（共催：日本イーライリリー株式会社）

座長：矢野 裕（三重大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科）

演者：福井 道明（京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学）

13:05～14:05

一般演題（若手優秀発表賞審査講演）

A会場（小ホール1）

座長：森田 浩之（岐阜大学大学院医学系研究科 総合病態内科学）

19. SDHB遺伝子変異陽性パラングリオーマの一例

名古屋第一赤十字病院 内分泌内科

○伊藤 大貴、清田 篤志、水谷 圭吾、土田 真梨子、岡崎 美香子、
渡邊 保子、尾崎 信暁

20. 甲状腺クリーゼをきたした無痛性甲状腺炎の1例

小牧市民病院 糖尿病・内分泌内科

○佐々木 智之、吉田 武之輔、牛田 美帆、後藤 恵、落合 啓史

21. 短期間に出血を繰り返した褐色細胞腫の一例

¹JA愛知厚生連 海南病院 糖尿病・内分泌内科、²同 乳腺・内分泌外科、
³同 病理診断科

○中村 太二¹、小澤 由治¹、板野 麻衣子¹、黒川 枝莉花¹、柴田 有宏²、
石川 操³、山守 越子¹

22. 橋本病の経過中に発症したTSA陽性のHypothyroid Graves' Diseaseの一例

¹浜松医科大学 第二内科、²浜松医科大学 医学教育推進センター、
³藤枝市立総合病院 内分泌内科、⁴浜松医科大学 地域家庭医科学

○今井 ゆき子¹、黒田 豪¹、新海 信介¹、酒井 勇輝¹、大場 健司²、
松下 明生¹、森田 浩³、佐々木 茂和¹、沖 隆⁴

23. 出産を契機に発症したと考えられる下垂体前葉機能低下症の一例

公立学校共済組合東海中央病院 内分泌・糖尿病内科

○芦田 涼成、奥村 中

24. 糖尿病教育入院中にニューモシスチス肺炎(PCP)を発症し、集中治療を必要とした1例

¹JA愛知厚生連 江南厚生病院 内分泌・糖尿病内科、²同 呼吸器内科

○前田 龍太郎¹、神田 真衣¹、大塚 晴佳¹、富永 隆史¹、大竹 かおり¹、
有吉 陽¹、伊藤 克樹²

25. 甲状腺乳頭癌を合併し、治療経過中にビタミンD欠乏による低カルシウム血症をきたしたサルコイドーシスの一例

名古屋第一赤十字病院 内分泌内科

○水谷 圭吾、清田 篤志、土田 真梨子、岡崎 美香子、尾崎 信暁

26. デノスマブ投与中の高カルシウム血症を契機に発見された原発性副甲状腺機能亢進症の一例

¹一宮市立市民病院 糖尿病・内分泌内科、²愛知県立大学 看護学部、

³一宮市立木曾川市民病院 内科

○寺田 良磨¹、尾方 秀忠¹、高島 裕美¹、山口 麻里子¹、溝口 暁¹、片山 正人²、
桐井 宏和³

13:05~13:55

一般演題（セッション5）

B会場（小ホール2）

座長：脇 昌子（静岡市立静岡病院 内分泌・代謝内科）

27. 診断基準を満たさず診断に難渋したインスリノーマの1例

¹国立病院機構 名古屋医療センター 糖尿病・内分泌内科、²同 外科

○松前 彰紘¹、田實 麻智子¹、杉浦 里果¹、山田 努¹、山家 由子¹、末永 雅也²、
竹田 伸²

28. 重度肥満症を合併する重症成人成長ホルモン分泌不全症に対する成長ホルモン補充療法による体組成、糖代謝、脂質代謝を検討した一例

公立西知多総合病院

○泉田 久和、石崎 彩子、高木 佐苗、加藤 二郎

29. 1型糖尿病患者に対するSGLT2阻害薬の有効性と安全性の検討

¹藤田医科大学 医学部 内分泌・代謝内科学、²名城大学薬学部臨床薬物治療学 I

○浅田 陽平¹、高柳 武志¹、良元 亮¹、岡本 慧子¹、上野 慎士¹、戸松 瑛介¹、
吉野 寧維¹、牧野 真樹¹、早川 伸樹²、鈴木 敦詞¹

30. 反応性低血糖から発見されたインスリノーマの一例

¹公立陶生病院 内分泌代謝内科、²藤田医科大学ばんだね病院 外科・小児外科

○内藤 聡¹、井土 哲志¹、大井 あや¹、笠井 貴敏¹、伊藤 雅子¹、赤羽 貴美子¹、
吉岡 修子¹、林 千紘²、堀口 明彦²

31. 重度のインスリン抵抗性を呈した早老症候群に伴う部分性脂肪萎縮症の1例

¹名古屋市立大学病院 内分泌・糖尿病内科、²名古屋市立大学病院 加齢・環境皮膚科

○早川 暁子¹、青谷 大介¹、長谷川 千恵¹、八木 崇志¹、椿 昭太¹、清水 優希¹、
浜田 けい子¹、竹田 勝志¹、小川 健人¹、西田 絵美²、小山 博之¹、田中 智洋¹

32. 潰瘍性大腸炎合併の多腺性自己免疫症候群3A型加療中に、妊娠、出産に至った1例

岐阜大学医学部附属病院 総合内科

○飯沼 侑香、坂東 直樹、浅野 元尋、北田 善彦、田口 皓一郎、池田 貴英、
梶田 和男、森田 浩之

14:05~14:35

一般演題 (セッション6)

A会場 (小ホール1)

座長：佐々木 茂和 (浜松医科大学 第二内科)

33. 無痛性甲状腺炎を5年間に5回繰り返した慢性甲状腺炎の一例

社会医療法人宏潤会大同病院 糖尿病内分泌内科

○寺島 康博、岸本 真理子、奥村 喬一、山口 佳奈、岩田 尚子

34. レンバチニブ使用した甲状腺未分化癌の1例

津島市民病院 内分泌内科

○西口 亜希、浅野 友良、村岡 由佳

35. 肺癌の甲状腺転移により甲状腺中毒症を認めた一症例

名古屋第二赤十字病院 糖尿病・内分泌内科

○齋藤 洋人、東 慶成、大曾根 親文、大原 恵未、山上 綾菜、稲垣 朱実

36. 橋本病を合併した甲状腺ホルモン不応症の1例

¹JA愛知厚生連 安城更生病院 内分泌・糖尿病内科、

²名古屋大学環境医学研究所 内分泌代謝分野、

³一宮市立市民病院 糖尿病・内分泌内科

○村瀬 萌絵¹、安藤 安佐子¹、村瀬 貴紀¹、武田 理¹、山田 涼子¹、伊藤 真梨子¹、
近藤 國和¹、水谷 直広¹、林 良敬²、山口 麻里子³

13:55~14:35

一般演題 (セッション7)

B会場 (小ホール2)

座長：稲垣 朱実 (名古屋第二赤十字病院 糖尿病・内分泌内科)

37. ニボルマブ単回投与によりACTH単独欠損症を発症した1例

岐阜県立多治見病院 内分泌内科

○椋谷 昌佳、光本 一樹、大川 哲司

38. Pembrolizumab投与後に1型糖尿病を発症した1例

¹公立陶生病院 内分泌・代謝内科、

²名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学

○植田 麻莉¹、井土 哲志¹、松野 裕里子¹、大井 あや¹、笠井 貴敏¹、赤羽 貴美子¹、
吉岡 修子¹、三輪田 勤²

39. 抗甲状腺自己抗体陽性例に生じた、非小細胞肺癌に対する抗PD-1抗体によるACTH単独欠損症

トヨタ記念病院 内分泌・糖尿病内科

○村瀬 正敏、渡邊 大祐、小川 晃一郎、篠田 純治

40. ペムブロリズマブ使用中にバセドウ病が増悪した一例

名古屋大学大学院医学系研究科糖尿病・内分泌内科学

○岡田 則男、岩間 信太郎、伊藤 雅晃、奥地 剛之、小林 朋子、安田 康紀、
恒川 卓、有馬 寛

41. ニボルマブによる化学療法中に下垂体機能低下症を発症した1例

¹名古屋市立西部医療センター 内分泌糖尿病内科、²同 呼吸器内科

○今枝 憲郎¹、國井 英治²、渡邊 久美子¹、友斉 絵美¹、太田 亜沙美¹、
伊藤 峻介¹、高桑 修²、山羽 悠介²、吉原 実鈴²、河江 大輔²、秋田 憲志²

14:40~15:40

教育講演

A会場（小ホール1）

「腫瘍免疫から読み解くirAEのマネージメント」

（共催：MSD株式会社）

座長：鈴木 敦詞（藤田医科大学医学部 内分泌・代謝内科学）

演者：北野 滋久（がん研究会有明病院 先端医療開発センター がん免疫治療開発部
（2019年11月から））

15:50~16:50

JES We Can Tokai 企画セッション

A会場（小ホール1）

「21 水酸化酵素欠損症患者の移行期医療の問題点

～各科連携による生涯フォロー指針作成をめざして～」

座長：山守 越子（JA愛知厚生連 海南病院 糖尿病・内分泌内科）

演者：水野 晴夫（国際医療福祉大学医学部 小児科学）

17:00~

表彰式・閉会の辞

A会場（小ホール1）

会長：有馬 寛（名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学）

ランチョンセミナーA 「機能性下垂体腺腫の治療最前線」

会 場：愛知県産業労働センター（ウインクあいち） 5階 小ホール1

座 長：沖 隆 先生（浜松医科大学 地域家庭医療学）

演 者：西岡 宏 先生（国家公務員共済組合連合会虎の門病院 間脳下垂体外科）

共 催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

ランチョンセミナーB 「サルコペニアの予防も見据えた糖尿病治療 －食事・薬物療法を含めた集学的な治療を目指して－」

会 場：愛知県産業労働センター（ウインクあいち） 5階 小ホール2

座 長：矢野 裕 先生（三重大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科）

演 者：福井 道明 先生（京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学）

共 催：日本イーライリリー株式会社

教育講演 「腫瘍免疫から読み解くirAEのマネジメント」

会 場：愛知県産業労働センター（ウインクあいち） 5階 小ホール1

座 長：鈴木 敦詞 先生（藤田医科大学 医学部 内分泌・代謝内科学）

演 者：北野 滋久 先生（がん研究会有明病院 先端医療開発センター がん免疫治療開発部
（2019年11月から））

共 催：MSD株式会社